

小児手術を受ける保護者のみなさまへ

保護者同伴入室について

一般的に、未就学児のお子さんは、親と離れることで不安が増すと言われています。手術室という非日常的な環境の中でも、親と一緒に入室することで、子どもの手術に対する恐怖や家族と離されるといふ不安は軽減されます。

当院では保護者同伴入室の希望がある場合、保護者が患児と一緒に手術室内へ入り、患児が麻酔で眠るまでの間そばに居て頂いております。保護者同伴入室のご希望があれば看護師に声をかけて下さい。

なお、同伴入室される保護者は1名とさせて頂き、風邪症状や37.5度以上の発熱がある場合は入室をお断りさせて頂きます。また、手術室内へのカメラ・携帯電話などの記録媒体の持ち込みは禁止させて頂いております。

【手術室での流れ】

- ①カメラ・携帯電話・貴重品を持参のかたは、手術室前室のロッカーに保管してください。
- ②受付で名前の確認を行ない、入室される保護者の方の体温を測定させて頂きます。看護師の引き継ぎが終われば、保護者の方は帽子とガウンの着用と手指消毒を行ない、手術室看護師・お子さんと一緒に手術室の中に入ります。
- ③手術を行なう部屋に到着後、再度名前の確認を行ないます。

- ④身体の中の酸素の量を測るシールを、お子さんの足の指に貼ります。

- ⑤マスクをお子さんの顔に当てお薬を吸ってもらいます。保護者の方は側で手を握るなど声をかけてあげてください。抱っこして頂く場合もあります。
*麻酔のかかり初めは興奮期といい、身体を激しく動かすことがあります。
そのような時は、お子さんがベッドから落ちないように看護師がお子さんを軽く押さえることがあります。

- ⑥お子さんが入眠した段階で、看護師の誘導で保護者の方は退室となります。

保護者同伴入室は強制ではありません。お断りになられても大丈夫です。

ご質問があればいつでも看護師へお尋ねください。